

教えて! 市立病院

〈第 138 回〉

新病院開設後 2 年を振り返って

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

米沢市立病院は、三友堂病院との間で地域医療連携推進法人「よねざわヘルスケアネット」が設立され、同じ敷地内で合築の上で新病院をスタートして早くも2年が経過しました。

新病院の2年間を振り返りますと、1番の変化は救急医療です。救急車の受け入れは三友堂病院と舟山病院との輪番制で行っていましたが、新病院では24時間365日受け入れることになりました。救急車の搬送件数は旧病院の約2,000台／年から、新病院では約3,000台／年に増加し、時間外の緊急入院も増加しています。また、新病院では救急医療の集約化を図り質の高い医療を提供するために、米沢市平日夜間・休日診療所の機能を市立病院救急外来内に移転しました。その一方で、年末年始やお盆などは患者さんが集中し、市民の



【今月のドクター】
ながおか あきら
院長 長岡 明 医師

皆さまにご迷惑をお掛けしております。当院としましても医師会の協力をいただきながら診療体制の強化に務めておりますが、市民の皆さまにもご理解と適正な受診をお願い申し上げます。

市立病院は急性期病院かつ地域医療支援病院として、かかりつけ医からの患者さんを受け入れ病状が安定した後に、かかりつけ医にその後の診療を依頼し医療連携を行っています。また、急性期治療後に継続治療が必要な場合には、三友堂病院をはじめとする地域の医療機関に紹介し治療を継続しています。新病院では救急医療をはじめとする急性期の患者さんを幅広く受け入れ治療を行うため、平均在院日数が10日前後と比較的短くなっていますが、かかりつけ医や地域の医療機関と連携を密に行い、きめの細かい継続性のある医療を目指し努力しております。